

平成21年(行コ)第261号  
公金支出差止等請求控訴住民訴訟事件  
控訴人 斎田友雄外17名  
被控訴人 群馬県知事外1名

## 証拠説明書

(甲B188~191)

2013(平成25)年3月28日

東京高等裁判所 第11民事部 御中

控訴人ら訴訟代理人弁護士 福田 寿 男

証拠番号	文書名	作成者	作成年月日	立証趣旨
甲 B 188 号証 (写し)	新聞記事	東京新聞	2013年1月6 日	建設省が設置した 治水調査会・利根 川委員会等の議事 録が新たに公表さ れたこと、その中 には、基本高水流 量1万7000 m <sup>3</sup> /秒 という数値が十分 な議論が尽くされ ずい採用されたこ とやより少ない数 値の案が突然消え てしまったこと等 が記されているこ と等。
甲 B 189 号証 (写し)	新聞記事	東京新聞	2013年1月10 日	甲B188と同じ。

<p>甲 B 190 号証 (写し)</p>	<p>利根川改修 計画資料 V</p>	<p>建設省</p>	<p>昭和 32 年 3 月 30 日</p>	<p>利根川調査会・利根川小委員会の議事録、同小委員会の報告書、利根川委員会の議事録等が掲載されている。決定された八斗島地点における基本高水流量には科学的な根拠がないこと等。</p>
<p>甲 B 191 号証 (写し)</p>	<p>カスリーン 台風実績流 量に関する 意見書</p>	<p>新潟大学名誉 教授・大熊孝 拓殖大学准教 授・関良基</p>	<p>2013 年 2 月 21 日</p>	<p>利根川小委員会・利根川委員会の議事録には、八斗島地点上流部での氾濫による洪水流量現象についての記述がないこと、同委員会では議論の経過が不明瞭なまま八斗島地点の基本高水流量が決定されたこと等。</p>